

秋田市外国人材活用ニーズ・実態調査 調査結果（概要版）

〈調査目的〉

外国人材活用ニーズや実態調査を行うことにより、市内企業の外国人材受入れの状況や今後の意向、必要な支援を把握するとともに、市内企業の人手不足解消と地域産業の振興発展を図ること。

〈調査内容〉

計 20 問（外国人材雇用・受入とその支援、日本語でのコミュニケーションに関する支援、生活環境・住居に関する支援、雇用環境に関する支援）について調査を実施。

対象……………市内企業 1,000 社

方法……………調査票郵送によるアンケート

期間……………令和5年6月21日（水）～7月10日（月）

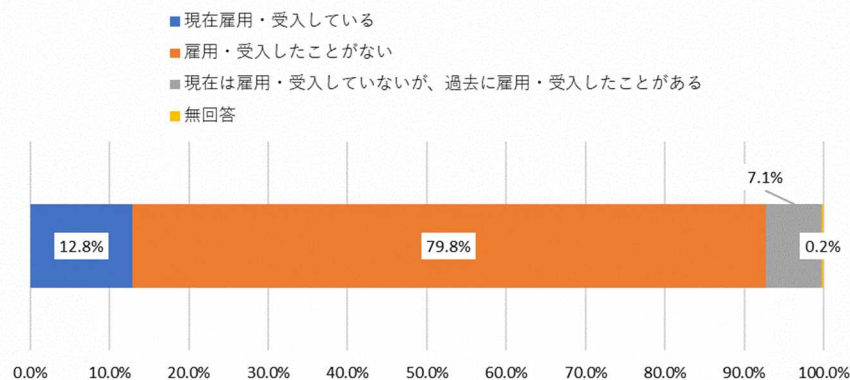
有効回答数…有効回答数 506 件（回答率 50.6%）

〈調査結果〉

(1) 秋田市に所在する事業所の外国人材雇用・受入の状況

- ・外国人材を「現在雇用・受入している」と回答した事業所は 12.8%、「現在は雇用・受入していないが、過去に雇用・受入したことがある」と回答した事業所は 7.1%で、合わせて 19.1%が外国人材の雇用・受入の経験がある。
- ・外国人材を雇用・受入して良かった点では、「仕事に前向きに取り組んでくれる」が 56.9%で最も高く、「安定して人員が確保できるようになった」が 38.5%、「社内の多文化共生、グローバルな視点の向上につながった」が 24.6%など、人手不足解消だけではなく、外国人材が職場でもたらすプラスの影響も与えていることがわかる。
- ・一方、外国人を雇用・受入して苦労した点では、「仕事以外の生活に関するサポート」が 40.0%と最も多く、「日本語でのコミュニケーションが困難」が 35.4%、「考え方や価値観の違いによるトラブル」が 30.8%となり、日本人を雇用する時とは違う配慮が必要となっている。

問 2 外国人材の受入状況（N=506）



(2) 雇用・受入に関する支援

- ・外国人を雇用・受入することになった主な理由では、約半数（50.8%）が、「日本人だけでは人手が足りないから」と最も高く、次いで「日本人が採用できないから」が27.7%となっている。
- ・外国人を「雇用・受入したい（継続を含む）」、「雇用・受入を検討中」と回答した事業所が合わせて33.0%であった。
- ・要望する支援に関する具体的な内容についての自由記述でも、外国人材の雇用や受入についての情報提供や手続き等について支援を求める内容が最も多かった。

(3) 日本語でのコミュニケーションに関する支援

- ・外国人の雇用・受入については、79.8%が、「外国人を雇用・受入したことがない」と回答しており、その主な理由は「日本語でのコミュニケーションが不安だから」が23.2%で最も多くなっている。
- ・外国人を雇用・受入して苦労した点においても、「日本語でのコミュニケーションが困難」と回答した事業所が35.4%に上っている。
- ・日本語学習については、「自習」が26.2%、「日本人従業員から日本語指導を受けている」が21.5%となっており、より高い日本語能力を目指すための学習環境が十分とは言えない。
- ・外国人材の雇用・受入に関する行政に要望する支援においても、「日本語学習に関する支援」が4番目に多い24.9%となっている。

(4) 生活環境・住居に関する支援

- ・外国人を雇用・受入して苦労した点において、「仕事以外の生活に関するサポート」が40.0%と最も多い。
- ・また、外国人材の地域住民や町内会の方との交流についても、「特に交流はしていない」が55.4%と最も多かった。日本人住民とは違い、周囲からのサポートが受けにくい外国人材を生活面でも目を配らなければならないなど、事業所側の負担が大きいことがうかがえる。
- ・外国人材の住居については、社宅、社員寮、借上の住居を提供している事業所が52.3%（本人負担あり、なし問わず）に上る。
- ・外国人材の雇用・受入に関する行政に要望する支援においても、「賃貸物件や空き家の紹介など住居の確保に関する支援」が5番目に多い19.4%となっている。

(5) 雇用環境に関する支援

- ・災害発生時に備えた外国人材用の対応マニュアル作成状況について、「作成している」と回答した事業所は6.2%にとどまっている。
- ・外国人材の雇用・受入に関する行政に要望する支援においても、「業務マニュアル等の外国語への翻訳など、受入整備に対する支援」が6番目に多い18.2%となっている。